



京都部部報

BULLETIN



第2号／2015.2 発行

京都部部長主題 「行雲流水」～ Be Y's men ～

西日本区理事主題 "To walk together, echoing each other" “響き合い、ともに歩む”

国際会長主題 "Talk Less, Do More" “言葉より行動を”

アジアエリア会長主題 "Start Future Now" “未来を始めよう、今すぐに”

京都部部長：畑本 誠（京都トゥービー）

西日本区理事：松本武彦（大阪西）

国際会長：Isaac Palathinkal（インド）

アジア会長：岡野泰和（大阪土佐堀）

「半期を振り返って～更なる未来へ繋ぐランナーとして」 第19代京都部部長 畑本 誠 (京都トゥービーワイズメンズクラブ)

私の体調不良により思うに任せぬ事もありましたが、京都部役員の皆様と各クラブメンバーの皆様のご理解とご協力に支えられ、半期を無事迎えることが出来たことを感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

京都部会では前代未聞の開会宣言になってしまいましたが、ホストクラブの素晴らしい演出によりカモフラージュすることができ安堵しました。

また、クラブ訪問では各クラブの「温もりあるおもてなし」で歓待して頂き、緊張していた心身がほぐれいきました。これぞまさしくワイズメンの優しさに触れられ嬉しく思います。

最近つくづく思います。

健康体であった時には感じなかった「ぬくもり」や「思いやり」をあらためて感じる事ができ幸せに思うと同時に、ワイズメンが持つ「共生」「共働」「共歓」の精神をこの半年間に体感出来たことは私の人生の大きな収穫とも言えます。あらためて言うまでもありませんが、ワイズメンズクラブはYMCAと共に歩む団体です。YMCAと共に支え合ってきたこれまでの歴史も「共生」「協働」「共歓」を共有するものであったと思います。

京都YMCAは2014年で創立125周年を迎えました。

この歴史ある京都YMCAの半生とワイズメンズクラブも共に歩んできたのだと思うと誇らしく思います。

歴史の重みを感じながらYMCAを更なる未来へ繋いでいく責務を我々も担っている事を肝に銘じたいと思います。

京都の中心部で京都の歴史を見守ってきたYMCA三条本館も改修が必要となってきました。

子どもたちが安心して利用出来る様に施設の改修をしなければなりません。耐震強化、エレベーターの取替え、エントランスの整備、リトリートセンターアプローチの架橋整備等に架かる費用を募金によって執り行われる予定です。

125周年記念募金として各クラブにご協力をお願いしておりますが、予定額に達していないのが現状で、募金期間も来年9月まで延長されます。

これまでもご協力を頂いているとは存じますが、あともう一押しのご協力を賜われる様、お願い申し上げます。

大変厳しい経済状況ではありますが、先人達が繋いできたYMCAの歴史を我々も京都の未来に渡していきたいと思えます。どうか、宜しく願い申し上げます。





次期部長 高田敏尚 京都ワイズメンズクラブ

いま、3月に開催される次期会長・主査研修会の集約をしています。京都部18クラブ、キャビネット、主査をいれると30人近い方からの連絡をうけています。もう、たいへん、そして面倒臭いと思ってしまいます。

部長に就任する直前のこの時期に、改めて京都部というのはでかいんだと体感しています。

面倒、「解決、処理するのに手数がかかる、するのがわずらわしい」という意味です。でも、面倒には、面倒をみるとか面倒見がいいという使い方もあります。こちらはわるい意味どころか、いい意味に使われますね。面倒をみるとい

うのは言い換えれば「人の世話をする」ということです。思わず口にした「面倒」から、部や部長の役割を改めて考えさせられます。「面」には人と会うという意味があります。

部としてのまとまりの中で、多くの方と知り合うことも多いでしょう。初対面でも同じワイズということ、すぐに気心が知れた仲間になれます。部長という仕事は、京都部500人の面倒をみていくことかもしれません。いやいや面倒なんてみていらん、という声が聞こえてきそうです。それは、それでいいのです。

それぞれのクラブがアイデンティティを発揮したらいいのですから。部長という職責を通して、さまざまな方との出会いがあるでしょう。与えられたこの機会、面倒なんて言わずに、これからが楽しみです。



直前部長 桂 厚子 京都ウエストワイズメンズクラブ

早いもので第19期畑本部長も半期が過ぎました。皆様ちょっとお疲れも出るころではないかと少々心配しております。

当初畑本部長も私同様顔にお怪我をされて心配しましたが、お元気になられ何よりです！今は横で拝見しているだけですが、役員の皆様が精力的に行事をこなしておられるように見え、私がなぞるように行事をみていると苦も無くスケジュールが過ぎて行くようで、凄いなあと思うばかりです。

今期はYMCA125周年の3000万目標の献金やそれにかかわる行事が目白押しに企画され、息つく間もないのではないのでしょうか？三役の皆様は大変だと思いますし、本当に役員の方々もご苦労様です。なにより125周年の記念式典が同志社の寒梅館で開催されるというビッグイベントが

控えています。まずはこの式典をYMCA内外のたくさんの方で祝いたいものです！子供たちもたくさん遊びに来てほしいですね。

高田部長も着々と地固めをされているのを見ると、ああ、次期ももう始まっているなと思います。やはり最初の取り組みが肝心でしょうか、頑張ってください！今年度は京都でアジア大会が開催されます。次期も運動しています。京都YMCAの中は早くからいろんな委員会で活況を呈している感があります。在京クラブ輩出の若手ワイズに大いに盛り上げていただき、森田実行委員長を女にさせていただきたいものです。京都の凄さを見せていただきましょう。

その前の6月には西日本区大会で、まず京都が、近畿が、西日本区が力を入ったところを見せて、引っ張っていきましょう！自らが楽しみ、働き、ワイズメンという仲間と倍々楽しみましょう。



監事 船木順司 京都トップスワイズメンズクラブ

畑本部長も折り返し、上半期は精力的に各クラブへの公式訪問や事業開催等、畑本部長のリーダーシップのもと、役員の皆様は慌ただしい日々をお過ごしに成られた事と思います。そして、京都部各クラブ会長も同じく上半期がスタート、緊張から始まり、会長の思いや方針をクラブメンバーに理解頂くため、多大なエネルギーをお使いに成られた事と思います。

上半期は種まきの期間です。皆さんが撒かれた種が徐々に芽を出し、花を咲かせるのが下半期です。「たった一年で何が出来るの？」と言われる方がおられるかもしれませんが、私は思います。

たった一年だからこそ、思う存分惜しげなく力を発揮す

る事が出来るのだと。

ワイズメンズクラブでは、リーダーシップをとる長と言われる職務が1年で交代する。このシステムこそ、常にワイズメンズクラブが躍動する源だと私は思っています。

残す所あと半期、様々な事業がまだまだ続きますが皆様の撒いた種が大輪の花と成る様、惜しめないリーダーシップを発揮頂き次期へ美しい花束と共に引き継いで頂きたいと思っています。

最後に成りますが、次期開始と同時にアジア地域大会が27年ぶりに京都の地で開催されます。京都部全てのクラブがホストクラブです。パレスクラブが音頭を取り、各クラブから選抜されたメンバーが事業委員長となり、リーダーシップを発揮頂いております。京都部全てのメンバーが参加できる様各クラブで創意工夫頂きます様よろしくお願いいたします。Y'sly



京都部書記 古田裕和

今、第3回の京都部評議会を終えてこの原稿を書いています。半期を振り返ってみると部の仕事(特に事務方)というのは考えていたよりかなりするべきことが多くて大変だった、というのが素直な感想です。その

のために各クラブ会長の皆様への情報伝達がタイムリーに行われなかったり各クラブからの意見収集もうまくできなかったりと反省すべきことはたくさんあります。

しかし以前に比べると年々、部の仕事や動きも多くなっ

てきているようにも思えます。何かもう少しすべてのことをシンプルにしなければ今後担当していく人たちが大変ではないのかなとも思います。でも現実今期は最後までやりきらないといけないのです。

後期は前期の反省を踏まえもっとスムーズに各クラブや京都部のメンバーの方々に色々なことをお伝えし、各クラブがより発展するお手伝いができればと思います。

そして大阪の西日本区大会ではみんなで美味しいお酒を飲みましょう！



京都部会計 小幡 弘

京都部会計というよりも京都部のキャビネットとして独り言。

「京都部の立ち位置って？」基本的には西日本区と京都の各クラブとの窓口であり、橋渡し役。でもそれだけではないんですね！京都部として

の当該期の方向性の提示。在京クラブからの意見や要望の集約そして議案提出。部長は京都部を代表し西日本区役員会時に議決権を有する重要なポジション。今後の役職候補

者の選出等々数え上げれば切りが無い程の重責。今一度これらの事を肝に銘じ、畑本部長のキャビネットとして、どのようなサポートをしていくか。何が足りないか。迅速且つ正確な情報伝達は出来ているのか。

上半期の反省も踏まえて、残り下半期主査共々、皆様のお役にたてます様まだまだ頑張らなければなりません。至らぬ点多々あろうかと存じますが、鋭意努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



京都部事務局長 伊藤 剛

京都部事務局長としての上半期、皆様のご支援、ご協力により無事に終わることが出来ました。ありがとうございました。

また、京都部キャビネットとして多くの事業に参加させて頂き、新た

な出会いや交流が出来たことに感謝いたします。

下半期もまだまだたくさんの事業が予定されております。上半期の反省を踏まえて、京都部の円滑な運営ができるように努めてまいります。

残り5ヶ月となりましたが、どうぞ宜しくお願い致します。

事業主査

下半期に向けて



YMCAサービス・ユース事業主査 中西康晴

主題「YMCAと、歩調を合して ～ユース事業の支援～」

京都部Yサ・ユース事業主査をお受けしてお蔭で半期が済みました。

YMCAとの良きパートナーシップの構築のため、またワイズメンクラブの一層の発展のため、若者のパ

ワーやエネルギーを取り入れていくことが必要と考えます。次期、7月31日にアジア大会が京都で開催され、パレスクラブを中心に大会の成功のため活動されておられます。

ワイズメンと若いリーダーが共に語り合い、お互いを知る絶好の機会であると考えています。

京都部のYサ事業が40程あり、半分が過ぎました。

京都YMCA創立125周年記念でもあり、さまざまな事業があります。創立125周年記念式典が2月11日に同志社大学で行われ、舞鶴YMCA専門学校が開校されます。

次期からは、東舞鶴で新しいYサ事業があるでしょう。

後半期ですYサ事業にお力をよろしくお願い致します。



地域奉仕・環境事業主査 田中光一

ワイズデーに向けて、クラブ独自の取り組みをお願いいたしました。

京都・ウエスト・めいぶる・みやび・トップス・エイブル6クラブが、自クラブの事業をワイズデーに位置づけしていただきました。

TOBE・ZERO 2 クラブは部からの提案を受けて西日本区メネットプログラム支援の退蔵院松山大耕師講演会を実施されました。西日本区CS資金・部からの支援金を得て、剰余金を1/2ずつ京都YMCA125周年募金・西日本区メネット国内プログラムへ託されました。

10月1日、この区メネット国内プログラムの当初支援先とされた社団法人ユニバーサルフィールドの前身であるNPO SORDについて会計処理が適正でない旨の新聞報道がなされました。

直ちに区キャビネットは団体代表者から事情聴取、適正な対応への行動を始められました。

にもかかわらず、一部区役員からの的を得ていない批判がなされたり、メンバーからも厳しい意見が出たりいたしました。特に一般の人たちからの寄付金も得て運営する団体

である以上、明確な会計処理のもと、運営されなければいけないことは明かです。ですがこの団体の場合、ただ良いことやってるからと言うのではなく、本当に自分たちでは何もできない希少難病患者に対して、国も地方公共団体も誰もできなかった患者たちが生きる方向性を探る作業を続けてきたのです。そのような団体に対しては、足らないところや間違ったところは補い正しながら、社会が気付かずにいた人たちのことを思い、手助けを続けるべきなのではないのでしょうか？厳しさと優しさを兼ね備えたワイズメンズクラブであってほしいと願います。

この記事の発端となった元職員は私に、「とにかく、失礼な記者だった、あまりの失礼さに一切取材には応じませんでした。それがあの記事になったのですね！でもSORDはほんとに誰にもできないことをやってきたんです。このことでなくなっては困るんです。私は今でもあそこへ患者さんを紹介しています」と申ししていました。彼自身も希少難病患者です。

2月にはもう恒例となったCSボウリング大会が開催されます。

皆様の活躍期待しています。



EMC事業主査 牧野篤文

主題「まだ、現状に満足しますか？～起こそう！メンバー増強スパイラル～」

今期京都部の畑本部長の方針で、京都部を600人体勢にする！と断言されたのを受け、京都部のEMC事業の目標も京都部600人体勢と致しました。

また、西日本区河原EMC主任は各クラブの10年先、20年先の未来を考えましょう！という指導をされたのを受け、次の時代を担う30代～40代の青年会員の獲得が必要であると考えました。

京都部の現状としてはここ数年500人前後が続いており、今期のスタートも492名からのスタートとなり、目標を達成するためには純増で108名が必要となります。とてつもない高い目標ですが、なんとかチャレンジしよう！と考え、期の始まる前の6月23日に「EMC勉強会」と題して京都部各クラブ会長様及びEMC委員長様にお集まりいただき、京都YMCAにて開催致しました。

初めての試みとなるこの勉強会では、「メンバー増強スパイラル」について説明させていただきました。これは「小堀理論」や青年会員が増え続けているクラブの共通点を分析したものです。そして各クラブのメンバー増強目標を明確に設定していただき、その目標を達成するための具体的

な行動計画を考えていただき、7月25日のEMC懇談会で発表していただきました。私の持論で恐縮ですが、京都部の全てのクラブがこの「メンバー増強スパイラル」を起こせば、京都部において108名の純増は簡単に達成できると考えました。しかしそれぞれのクラブの事情や考え方がありますので、この半年では今のところ結果としては出ておりません。

しかし京都部全体としてメンバー増強に対する意識が変わりつつあるのを実感しております。YMCAへのサポート、地域への奉仕がワイズメンズクラブの最大の目的ですが、そのサポートや奉仕は誰が行うのでしょうか？

これは間違いなくワイズメンであるメンバーです。という事は、ワイズメンズクラブにとって最も大切なのは「一人一人のメンバー」ではないでしょうか？その事を心底理解してメンバー一人一人を大切に、「メンバー満足度」の向上を最優先しているクラブがメンバー増強に成功し成長しているのがまぎれもなく現実です。私は600人という目標に向かい、この事を理解していただけるように、微力ですが残り半期EMC主査として頑張っていきたいと思えます。



ファンド事業主査 中村隆司

主題「制度改革、今こそ初心に戻り次世代への1歩を！」

ワイズメンズクラブ京都部各クラブメンバーの皆様こんにちは、京都部ファンド主査を努めさせて頂いておりますウェルクラブの中村隆司です。皆様には日頃からファンド事業にご理解ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

7月から畑本部長期が始まり、これと言ったお力添えも出来ぬまま早くも半期が終わってしまいました。そのような中でも8月のインドチェンナイ国際大会には、京都部からは久々となるBF代表にパレスクラブから森田ワイズを輩出頂き、またEF献金に関しましてもキャピタルクラブの仁科ワイズ、トゥービークラブの畑本ワイズにご協力頂き心から御礼申し上げます。

そして部長公式訪問随行には京都クラブ、パレスクラブ、洛中クラブ、みやびクラブ、ゼロクラブに訪問させて頂きましたが、拙いお話を聴いて頂く結果となってしまい申し訳御座いませんでした。各クラブに訪問させて頂き、まだまだファンド事業に関しての認知度が低い事を改めて痛感し、残りの半期に少しでも周知徹底することが出来ればと思っております。

今期から西日本区はファンド事業委員会と交流事業委員会を無くし国際・交流事業委員会を作られ、次期京都部はそれに合わせた体制を取られるとの事ですので、私が京都部最後のファンド主査になるかもしれませんが、最後まで全力で努めさせて頂きますので、どうぞ宜しくお願い致します。



交流事業主査 笹山直世 主題「国際交流を楽しもう！」

今期も、早半年が過ぎました。

京都部の部長公式訪問も1月15日のセンチュリークラブさんを最後に終了致しました。私も随行員として

①プリンスクラブさん②トップスクラブさん③福知山クラブさん④センチュリークラブさんと4クラブさんだけではありますが、其々の例会に参加させて頂きたく事が出来ました。

どのクラブさんもみな個性があり、其々のクラブカラーが有るのを感じた事がとても印象に残り、又、良い経験をさせて頂いたと感じております。檀上で話をする事があまり得意では無い私の拙い話に耳を傾けて頂いた皆様方には本当に感謝の気持ちで一杯です。

前半の国際交流事業に付きましては、大きなDBC交流やIBC交流をされたクラブさんもありますし、合同例会や記念例会等大きな例会を持たれたクラブさんも沢山ありました。私達の所属する京都部のワイズメンズクラブはアクティブで経験豊富なワイズメンが本当に沢山おられるのだと改めて感じましたが、後半に入りましてはDBC締結を予定

されているクラブさんや記念例会を予定されているクラブさん、STEPに興味を示されているクラブさん、と、まだまだ皆様活発に動き続けておられます。

クラブの運営に必要な事業が沢山有る中、交流事業という少し肩の力を抜いて楽しめる事業（これはあくまで私個人の主観ではありますが…）は本当に楽しいと思います。特にIBCは国境を越えた交流事業という事ですから、とってもバリューな事業ではないかと思います。

さて、今年の7月31日～8月2日皆様ご存知の通り、ここ京都にて“アジア大会”が行われます。非常に大きな国際的な大会で、京都部の国際交流事業とは直接繋がりはありませんが、約20%が海外からの参加者になると試算されています。これこそ国境を越えた交流事業を楽しめる機会になる事は間違いありません！よね。ここ京都に他府県や海外からこられるお客様への『お・も・て・な・し』楽しみましょう！！

またこの大会には1,000人以上の参加を要しています。皆様の参加協力で京都から大きなワイズメンパワーを発信致しましょう！！



広報事業主査 倉田正昭

主題「"Global Network beyond the border"国境を越えたグローバルネットワーク」 ～最近の京都部から見て思うこと～

今期も後半が過ぎ、残り数ヶ月となりました。2回の広報主査を経験させて頂いて、最近少しずつ京都部内の各クラブに変化が起きているのを感じます。

それが顕著に表れているのはワイズ・デーだと思います。

以前は、部からイベントを企画して、各クラブはそれに従うというものでしたが、最近では、各クラブが独自の得意とするフィールドで主体的に事業を展開しておられます、これはメンバー意識の変化であります。

部の役割が、各クラブが活動しやすいように、お手伝いするという潤滑油の働きになって来ております。

そういった意味では、広報は重要な役割を担っていると云えます。今期で京都部の広報主査というポジションは私が最後でピリオドを打ちますが、その代わりとなるのがPR委員会です。PR委員会は継続的に、ワイズメンズクラブを一般の人にわかり易く宣伝したり、その活動記録を保存す

る為に作られました。その中でも、ホームページの維持管理は技術が必要で、大切な役割を担っております。

PR委員会を、まだまだご存じ無い方も多いかと思いますが、今期から次期にかけて京都部内で確立してゆき、その人選や管理方法など、京都部における常駐委員会のスタイルをとって、引き続き継続してゆくことになりますので、よろしくお願いいたします。

また、今年は、アジア大会が開催され、各クラブのメンバーが垣根を越えて準備にあたられています。これを機により一層クラブを越えたメンバー間の絆が深くなるのではないかと思います。グローバル化している京都部の中で、今はボウリングやゴルフなど交流の場がありますが、今後その枠を広げ、語学や音楽など、クラブを越えた趣味の集いの会がもっとあってもいいのではないかと思います。

では、みなさん今期後半のワイズライフをエンジョイしましょう。



メネット事業主査 国松和子 ～半期を終えて～

去る1月24日京都部合同メネット会を開催致しました。第一部の木村まさ子様をお迎えしての講演会では、予想をはるかに超える約220名の皆様においで頂きました。

講演会は木村様の絵本の読み聞かせで始まり、その魅力的なお話は時間も忘れるほどにあっていう間に過ぎていきました。お二人の子供さんを育てたお母さん目線のお話は、参加されている皆様の心にもずしりと響き、子育て中の方、子育てがすでに終わった方にも人生の何らかのヒントになったのではないかと嬉しく思いました。

講演後の質疑応答の中では、普段あまりお話はされない「幼少の頃の御子息のお話」にも少し触れられ、母と子の何気ない会話に母親としての親近感をさらに覚え、穏やかな気持ちになりました。私自身にも、その内容はいまだに心に強く残っています。



主題「LOVE & PEACE」

二部懇親会の木村様を囲んだお食事会には67名の参加があり、和やかに楽しい時間を過ごす事ができました。気さくな木村さんは各テーブルを回り、雑談しながら記念撮影にも参加してくださいました。

もうひとつこのメネット会に花を添えていただいたのは、ギター演奏によるメネットソングでした。世界平和を願うメネットソング「メネットのねがい」は、約30年前になかのしまクラブの今井利子さんが作詞されたものです。当日ご都合が悪くなり急遽欠席されましたが、作詞をされた時代の想いをお手紙で届けてくださいました。この詩に込められている今井さんの思いと、この合同メネット会における今期の私の1番の思い「メネット同士がクラブを超えて、世代を超えて一緒に会を楽しむ事を。そしてメンバーである主人達が楽しく活動しているワイズメンズクラブを応援する思い」は、重なり時代を超えて引継がれていくと強く感じました。ギターによる平山さんの優しい歌声が運ぶ「メネットのねがい」は、改めて心にひしひしと伝わり感じました。

昨年の5月から各クラブ例会に参加させて頂いたり、2回のメネット懇親会を経て準備をして参りましたこの合同メネット会も、おかげ様で京都部メネットのチカラの集まりで作り上げる事ができました。ワイズメンズクラブ以外の方でも集客数の3分の1とたくさんおいで頂き、YMCAを軸とした奉仕活動をしているワイズメンズクラブを知って頂いたこと嬉しく思います。

京都部各クラブ会長様、メンバー、メネットの皆様のご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

これからも引き続き、メネット活動へのご理解、ご協力をお願いします。



統轄連絡主事 加藤俊明 ～半期を振り返って～



7月から畑本部長のもと始まった今期京都部ですが、YMCAから京都YMCA125周年に関連し例年以上に様々なご協力をいただき感謝申し上げます。

まず、記念募金に関しては畑本部長や中西Yサ主査を通して125周年記念募金のお願いを各クラブをお願いしていただいたことで少しずつ各クラブから協力が増えてきております。引き続き個人及び各クラブ単位でのご協力をよろしくお願いします。

また、125周年記念事業では、多くのクラブに企画いただき年間を通じて様々な記念事業が行われました。京都市のみならず、新しくYMCAができる舞鶴市地域でも記念事業としてのイベントを開催いただき、125周年を機に京都YMCAとワイズメンズクラブの存在を広く府下にアピールする契機になったのではないかと思います。2月11日の125周年記念式典も合わせて各クラブには全面的にご支援いただいておりますこと感謝申し上げます。

残り半期もご支援ご協力よろしくお願いします。

各クラブ会長

下期に向けて

京都ワイズメンズクラブ会長 多賀久貴

会長主題「レッツ・ビギン」～明日の為に今、始めよう～



第67代京都クラブ会長を仰せつかっております多賀久貴でございます。

今期の京都クラブでは、期初に計画いたしましたYサ・CS事業を順調にこなしており、例年の事業も引き続き活動して参りました。十勝クラブさんから購入するジャガイモ・カボチャファンドやリトセンでのワーク、祇園祭での夜店の出店、そして今期のワイズデーイベントとしても開催いたしました京野菜即売会も継続して活動しております。

今期の会長方針でもありますメンバー増強を重点活動目標としまして、期初に計画致しました「仲間作り例会」を8月に開催し8名のゲスト様にお越しいただきました。2月までに2名の方に新しいメンバーとしてお迎えすることが出来ました。3月にはもうお一人の入会式を行う予定でございます。

2月例会には入会候補として3名のゲスト様にご参加いただくことになっております。

3月には第2回仲間作り例会をいつものホテルを飛び出して、いつもとは違う雰囲気メンバーの皆様の親睦を図り、多くのゲスト様にご参加いただき楽しんでいただきながらY'sを知っていただき、新しいお仲間になっていただければとの想いで開催を予定しております。

新しいメンバーが増えることは、クラブの活性化につながります。クラブが元気になればメンバーも楽しく活動できYMCAの活動をサポートする力も大きくなります。そして京都クラブよりビッグウェーブを起こし京都部全体を活性化させ次期へとつなげて参りたいと思っております。

今後もメンバーの皆様と心をつなげて明日のYMCAの為、京都クラブの為に全力で活動して参る所存でございます。どうか皆様の温かいお心でお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

福知山ワイズメンズクラブ会長 堀 京子

会長主題「明るく、楽しく、笑顔でワイズへ」楽しいところに人は集まる



キックオフ例会講師の日本基督教団福知山教会・李相勁（いさんきょん）牧師は京都YMCA日本語科ご卒業だと伺い、ご縁に感謝でした。今期の会長主題に共感くださり「明るく楽しく笑顔で教会へも」と！「一期一会」「井戸の呼び水」

のお話に、私達ワイズメンがその地にあって良さを発揮して良い呼び水になりたいとの思いを新たにしました。

第29回 クリーン弘法川（河川清掃）は7月17日、魚つかみ大会は翌18日に行い、地元紙・両丹日日新聞7月23日付にも掲載いただきました。

8月は16～17日の福知山豪雨災害復旧奉仕。福知山

YMCA 会館は奇跡的に浸水を免れ、珠算教室の吉田先生や生徒の保護者、YMCA ブッククラブの西山美也子さん、舞鶴 YMCA スタッフになられた藤原貴子さん、足立長逸ワイズ夫妻らが泥かき奉仕。8/20、京都 YMCA ボランティアビューロー専門委員長・宇佐美さん（京都 ZERO クラブ）の事前訪問後、8/23（土）24（日）、京都 YMCA から各日 20 名を派遣し、福知山市災害ボランティアセンターを通し活動。船木ワイズ（京都 トップス）、伊藤ワイズ（京都 グローバル）は足立長逸ワイズ宅にステイし連日のご奉仕。人見ワイズ（京都 パレス）、河合ワイズ（京都 ウェスト）も手つかずだった会館裏手の泥をかいてくださいました。感謝申し上げます。

10 月 14 日、畑本誠京都部部長公式訪問例会。京都部より部長メネット、中西康晴 Y サ主査（京都 ウイング）、笹山直世交流主査（京都 パレス）来福。京都 トップスクラブより 6 名が 20 周年記念例会（2015 年 4 月 5 日）アピールの上、8 月福知山豪雨災害に対する募金を席上お贈りくださいました。



京都パレスワイズメンズクラブ会長 平野雅幸

今期はアジア大会への取り組みもあり、継続して行っている事業がおろそかにならぬようメンバー一丸となり頑張ってきました。

Y サ委員会では期首のサバエワーク & 植樹に始まり、オータムフェスタ、紅葉コンサート・リトリートセンターの照明寄贈（YMCA 125 周年記念事業）を行いました。2 月 11 日の YMCA 125 周年記念式典は TOF 例会振替とし、また当日のお手伝いを Y サ、地域環境委員会を中心として取り組んでいます。今後はミニバス大会、夜桜フェスタ、チャリティランを予定しています。

地域奉仕活動としては和敬学園を中心とした活動を行い、会社見学、オータムフェスタ招待、奨学金贈呈、クリスマスプレゼント寄贈を行いました。和敬学園を卒業する生徒の新生活のためにリサイクル品を寄贈する予定です（ファンド事業としてメンバーからの不用品回収で集めたもの）。4 月にはグローバルクラブ様とともに献血事業に取り組む予定です。

EMC 委員会ではメンバーに対しアンケートの実施（年間三回の予定）、11 月 29 日には新人研鑽会として会歴の浅い

11 月 2 日、舞鶴でのワイズデー事業。京都 ウェストクラブにお誘いいただき YMCA 国際協力募金の街頭募金活動に浅尾、足立両ワイズと堀が参加。

クリスマス例会は「フルーツアンサンブル・パストラーレ」さんによる演奏を、メン 7 名、メネット 3 名、ゲスト 5 名の計 15 名で楽しみました。

下半期には通常例会がこれくらいの人数になるよう EMC に努めるとともに、2 月で 20 周年を迎える福知山 YMCA ブッククラブの活動支援、舞鶴 YMCA 国際福祉専門学校ライブラリーへの支援を検討していきたいです。



会長主題「あなたの笑顔が見たいから」

メンバーが企画しボウリングとバーベキューで親睦を図りました。上半期の入会者は 3 名、下半期に入って 2 名の入会者がありました。2 月 25 日には『体験例会 2015』と外部の方をお誘いできるような例会を予定しています。

交流委員会では IBC、DBC へのブリテン送付、香港九龍クラブ訪問、マニラダウタウンクラブ来日、札幌クラブ訪問を行いました。併せてアジア大会のアピールも行いました。下半期では韓国仁川チュムルポクラブ、台中エバグリーンクラブへの訪問を予定しています。

ファンド事業委員会では BF 使用済み切手回収を行いました。また、例年のポテトに加え、名刺、証明写真、不用品回収、クラブブルゾン等のクラブファンドを行いました。3 月にはトスファンド例会、不要品回収ファンド（3 回目）を予定しています。

広報委員会ではブリテンを毎月発刊（PDF）、季刊誌（年四回）発行しています。

今期はトップスクラブ様と合同例会を行ったり、またアジア大会の準備もあり、クラブのメンバーが多くワイズメンと出会う素晴らしい機会に恵まれました。このことがメンバーのクラブ愛を育んでいると感じています。



京都ウェストワイズメンズクラブ会長 金澤典子

会長主題「Naturally」～原点を見つめ直し自分らしさを～

皆様、いつもお世話になっております。不安ながら会長職を努め 7 ヶ月が過ぎました。キックオフの興奮も冷めやまぬまま、サバエワークや京都部事業委員会が始まり、毎週のように委員会や行事で出かけました。

ウェストはアジア大会エクスカースション担当も有り、委員会の皆様は本当に苦勞されているのを実感致します。8 月には DBC クラブ、東京ひがしクラブのお招きで深川水掛祭りに参加して来ました。3 年に一度の大祭はそれは圧巻でした。55 基有る各町内の神輿の中で 1 番クジを引かれたのが東京ひがしクラブでした。

次ページに続く ➤

我がウエスト男性陣が張り切って神輿を担いでいたのは言うまでもありません。本当に楽しい体験をさせて頂きました。

納涼例会では、蓮久寺の三木大雲住職にこわ〜いお話を頂いたのですが、偶然にも京都部事務局長伊藤様と従兄弟どうしだと後で知り不思議な御縁を感じました。

9月の京都部会・第2回評議会では少し会長職にも慣れ初めた頃でしたが、まだまだ皆様に着いていくのが一生懸命でした。

そして10月IBCクラブの台北ダウントウンクラブが十勝クラブとのIBCも希望されているという事で、森田ワイズと数名が十勝へ行き仲人役をして来られました。とても良い交流が出来たとお聞きしました。

10月末にはクラブにとっても名誉である、桂厚子直前京都部長のエルマークロウ賞受賞・祝賀会です。沢山の皆様が遠方よりお祝いに来て下さいました。メンバーの一致団結としたおもてなしはウエストならではの自負しております。本当に心温まる祝賀会が出来た事を感謝致しました。

11月のワイズデーには舞鶴YMCA、125周年、そしてワイズメンズクラブを知って頂く為に街頭募金に行ってきた。現地では3カ所に分かれ、支援先の養護施設の児童や他クラブ・ゲスト様達も参加され、とても有意義な1日でした。

今期ウエストは35周年なのですが、式典はDBC・内々クラブの皆様だけでお祝いしようという事になりました。35thPTが組まれ、委員長はじめ委員の皆様が協力し、おごそかで、温かい式典を行う事が出来ました。

そのアクトの一つとして1月末に舞鶴YMCA前にもみの木を植樹して参りました。今後大きく育ってくれる事を願っています。

2月からはアジア大会に向けダンス同好会開催、3月には1泊例会、4月にはIBC台北ダウントウンクラブの40周年式典と十勝クラブとのDBC締結式に参ります。

まだまだ行事も沢山ありますが、あと5ヶ月間、最後まで頑張りますので宜しくお願い致します。



京都めいぷるワイズメンズクラブ会長 青木繁幸

会長主題「初心」31年目からのスタート

早いもので、気が付くともう半年が過ぎようとしています。会長も3回目ですから慣れているはずなのにやはり上半期はあっという間に過ぎ

てしまいます。

今期はここ数年クラブの懸案であったメンバー増強、これに集中しようとEMC委員長と共に色々新しい試みをしております。

まず、メンバー候補が例会に参加されるときはゲスト会費に補助を出して、メンバーがゲストを呼びやすいようにしております。具体的にはゲスト会費5,000円のうち3,000円をクラブが負担しております。またオリエンテーションの資料を見直し、パワーポイントを使用して、聞いて頂くゲストが理解しやすいように作り直しました。またオリエン

テーション終了後は必ず懇親会を開催してメンバーとの親睦を図るようにしています。その甲斐あってか上半期で3名の新しい仲間が増えました。下半期もこの調子でもう2〜3名増やしたいと考えております。

Yサ事業として例年通りサバエキャンプ場開設ワークに参加、メインゲート設置、備品テント設置を行いました。また11月にはYMCA祭りに於いて焼きそば屋台の協力、これはワイズデーでもありました。

地域奉仕事業では長年支援しています社会福祉法人「積慶園」が毎年行う日本海キャンプに一泊二日で付き添い。11月にはYOU・友・フェスタで屋台出店協力を行いました。

下半期もまだまだ事業がありますので気を抜かずに行っていきたいと思います。





京都キャピタルワイズメンズクラブ会長 菅原 穂一

会長主題「伝統から、未来を紡ぐ」

これまで行った主な事業を挙げさせていただきます。

(7月)・リトセン、サバエ準備ワーク

(9月)・リトセン秋の準備ワーク

(10月)・29年目を迎える視覚障害者

の方々との交流「ふれあい広場」～六甲山の上 美術館(さわるみゅ～じあむ)にて(11月)・舞鶴市でのYMCA125周年記念事業・リトセンオータムフェスタ・第1例会での講演「YMCAとプォーリス」～京都クラブ、石若ワイズ

(12月)・わんぱくチャレンジクラブ・クリスマスロビーコンサート(1月)・めいぶるクラブさんとの久しぶりの合同新年例会

舞鶴市での125周年記念事業について、少し詳しく報告させていただきます。

この4月に、京都YMCAが舞鶴市に国際福祉専門学校を開校されるにあたり、舞鶴市民にYMCAの活動を知ってもらいたいという目的で、舞鶴市民球場において、元プロ野球選手4人を招き、地元青少年少女のための野球教室を開催させていただきました。総勢350名ほどの参加で、舞鶴市長

にも来ていただき、地元新聞にも掲載され、市民にYMCAをアピールできたかなと思っています。

EMC事業では、10月に1名、入会の実績をあげ、ご本人は早くもクラブに溶け込んで楽しそうに活動されています。あと2名、目標達成に頑張ります。又、今期のEMC企画で、「入会記念日祝賀会」と称して、クラブ設立当初から入会の年の順番を追って、6回に分け、6回シリーズでそれぞれのメンバーの祝賀会を開きます。毎回、参加することで、クラブの歴史を知り、一人一人のメンバーの人となりも知ることが出来、クラブのメンバーシップは、大いに盛り上がっています。

これから後半も、Yサ事業をはじめとして各事業に力を入れて取り組んで行きますが、特に、来る第26回アジア地域大会とりわけユースコンボケーションの準備にクラブあげて全力を傾けます。全メンバーがAYC小委員会に配属が決まり、これから具体的に準備活動を進めていきます。又、アジア地域大会参加登録については、補助金など考慮しながら、可能な限り多くの参加登録をめざします。



京都プリンスワイズメンズクラブ会長 飯尾 豊

会長主題「明日に向かって一歩ふみだそう」

「光陰矢の如し」と申しますがこの半年、あっと言う間に過ぎてしまいました。

自分自身無我夢中で振り返る時間ありませんでした。この原稿依頼

が来て、やっと思い出せる時間を頂きました。

振り返れば7月サバエワーク、サバエキャンプ場は我がプリンスクラブでは子供たちが快適なキャンプ生活が出来るように強い思い入れがあります。

炊事棟、そして2年前に完成しましたシャワー棟は先輩達が汗を流して建設しました。そこをワークで清掃するのは大変重要と思っています。いよいよ子供たちのキャンプが始まると私の会長が始まるのを考えると一層力が入りました。

8月の例会は京都部部長をお迎えしての例会。普段人前でお話するのに慣れていない私にとって一番緊張していて、いまだに挨拶で何を話したか覚えておりません。続い

て青い空と白い雲のキャンプでは昨年ぶっつけ本番で好評でした原住民の役を今年はリーダーが考えた楽しいストーリーで2日も出演、何と去年は3名でしたが今年はウイングクラブより3名の参加があり大変子供達を喜ばせました。(本人達も大変喜んでるみたい)

9月にはプリンスクラブが支援しているマイ・マイのキャンプがサバエキャンプ場で行われ、今期我がクラブでサバエキャンプ場を年間有効利用する事を考えていましたのでマイマイキャンプがサバエで出来たことは有意義でした。

また春になればクラブのメンバーと一緒にサバエでキャンプ等を考えたいと思います。10月第一例会で待ちに待った新メンバーが増え、11月に我がクラブから次々期京都部部長を輩出することが決まり、続けて12月にマイ・マイを指導されている宇高ワイズが我がクラブに入会され、益々クラブ運営に充実感が出てきました。1月に宇高ワイズの指導のもと、マイ・マイのキャンプに参加してくれた子供

達が成長し将来の進学や就職についての不安や悩みを解消してもらう為のマイ・マイフォーラム「聴覚障がい青少年の進路について学ぼう」がみんなのカフェひろばで開催されました。私も参加して障がいを持っているということは大変な事と痛感し、これからもこの活動を支えていきたいと思っております。この半年、会長主題に上げました「明日に向かって一歩ふみだそう」の一歩も二歩もふみだしたと思います。あと半期、重要イベントとしてはCSボウリングのホストクラブとして精一杯のおもてなしが出来るか心

配をしています。皆様の協力を得てきっと成功すると確信を得ております。



京都センチュリーワイズメンズクラブ会長 山崎育男

会長主題「Everything is practice」すべては実行の中にある



2回目の会長職を拝命し、スタート時は1回目より落ち着いた気持ちで、またメンバーのバックアップもあり、淡々と事業活動が出来ると考えていました。自身は主体性を持って積極的に各種活動へ参画する事を目標にしました。センチュリークラブもクラブ方針を前期片山会長方針から引き継ぎ、会員増強としました。そして7月キックオフ例会とともに、1名新入会員を迎える事が出来ました。会長職としては初めての入会式を経験することが出来、方針通り幸先の良いスタートとなりました。今、半期を振り返りますと事業活動については淡々と計画通り実施出来ていますし、メンバー和気藹々とクラブ活動も出来ています。しかしながら、メンバー増強については主体性を持って出来たのかと反省しています、残り期間メンバーと企画検討を行い、方針達成に向け頑張りたいと考えています。

上半期の事業活動については、8月例年の白川学園さんへの夏祭りを実施しました、フランクフルトの屋台を出店し、残念ながら雨降りですぐに体育館での夏祭りとなりましたが、屋台がまだ準備中にもかかわらず、園生から早く食べたいと

列が出来、嬉しくそして忙しい夏祭りとなりました。9月は自身最も感銘を受けたDBC事業で、宮崎クラブの『10周年記念例会』にセンチュリーから4名が参加してきました。熊本・鹿児島・他クラブの多くの方々が出席される中、「YMCAを持たない宮崎県で、これまで紆余曲折がありましたが…一歩一歩着実に歩み続け、宮崎クラブを再建して行くことを誓います」との藤木会長の力強いご挨拶を聞き、これまでのご苦労がひしひしと伝わりました。京都は多くのクラブがあり、宮崎クラブさんと比べると環境が全く違うのが改めて判り、今後のクラブ活動参画に頑張らなければと思いました。1月の部長公式訪問が終わり、あと残り半期、センチュリーが出来ることをクラブメンバーと明るく楽しく確実に実施していきたいと思ひます。



京都ウイングワイズメンズクラブ会長 岸本伸也

会長主題「来るべき未来に向けて」



我がウイングクラブの第28期は、6月29日のリトセン夏季準備ワークから始まりました。YMCAを理解して、Yサ事業、プログラム等に対して地域奉仕も踏まえて、積極的にメンバーが参加してもらうことを目的として例会やブリテンで委員長が筆頭で猛アピールをして参りました。

その中で当クラブのメイン事業である「青い空と白い雲のキャンプ」が8月23日24日にサバエキャンプ場で実施されました。毎年サポートしており本年は20名のメンバーが参加しました。このキャンプは、病気の子供たちが普段なかなか体験できないカヌーをしたり、クッキングをしたり2日目の朝にはなんと…気球に乗ったりもします。今まで12

回開催されましたが一度も天候により中止になったことが無いのです。医師・看護師・リーダー・メンバーとサポート体制は参加の子供たちより2倍以上必要ですが最後に子供たちを親御さんが待っておられるJR京都駅まで送りますがその時に見せる子供たちのキラキラした目・笑顔を見るとメンバー一同ホットする瞬間「あっ楽しかったのだな、実施して良かったな」と感じる最高の幸せの時間です。

地域奉仕の事業として、10月4日に「成望館ふれあい祭り」サポートが19名の参加で行いました。時期的にかき氷は寒いのではないかと心配しましたが見事完売することが出来て本当に良かったです。11月24日には「リ・ブラン京都中京のバザー」支援をしました。22名の参加でワインなど

のお酒・お花・衣類などを販売してそれぞれ売上金全額を支援金としてお渡しすることが出来ました。

下期としては、3月1日に予定されている「リトセンチャリティーゴルフ」のサポートをします。実行委員長が20組

80名を目標に頑張っていますので多くの皆さんの参加をお待ちしております。「JOCSウォークソン」のサポート、かもがわチャリティーランと事業目白押しですが出来る限りの参加をしたいと考えています。



京都洛中ワイズメンズクラブ会長 室田博行

会長主題「ワイズ愛」人生を愛し、地球を愛する

京都洛中クラブ第27期が始まって早半年が過ぎました。

年度最初の事業、サバエキャンプ場開設ワークでは洛中クラブが設置したアーチェリー場の草刈り、的台の設置を行い、アーチェリー弓矢のメンテナンス費用を寄贈しました。

今期は地域奉仕事業として長年支援を続けている児童養護施設つばさ園の園児とのふれあいを例年よりもう一步踏み込んで行うことを目標にしました。つばさ園の施設長、担当職員の皆さんと話し合い、各行事への園児参加数も増やしました。

8月6日松尾橋で行う花火大会は例年の参加者を大幅に超えるつばさ園園児、職員35名と洛中クラブ合わせて約50名で行い、大賑わいでした。

8月31日には園児たちが最も楽しみにしているサバエキャンプ場デーキャンプにマイクロバスをチャーターし、園児18名、職員3名を招待して行い、カヌー、水泳、スイカ割り、メンバーが準備するバーベキューを楽しみました。

今年はYMCAリーダー、洛中クラブのメンバーの協力もあり、例年以上にコミュニケーションがとれ、楽しく充実したデーキャンプとなりました。

11月23日のリトセン・オータムフェスタにも園児12名、職員3名を招待しました。園児たちは食事と綱引きを毎年楽しみにしています。今年の綱引きは1回戦で敗退しましたが、大いに盛り上がりました。

2月開催の京都部チャリティ・ボウリング大会にはつばさ園は去年の倍近い25名をエントリーしており、一層のコミュニケーションがはかれそうです。

12月の京都YMCAクリスマス・ロビーコンサートの一日を担当し、フォークソング&オールディズのコンサートを行いました。出演の平松修三さんは国松メネット事業主査のギターの先生だったそうで国松さんにも特別出演していただきました。

あっという間でしたが、充実した上半期となりました。下半期も引き続き今期会長主題である「ワイズ愛」を持って、メンバーと共に楽しいワイズライフを過ごしたいと思っています。





京都エイブルワイズメンズクラブ会長 砂地一廣

21年ぶり2回目の会長役は皆さんのお力をいただき無事半期を終えることができ感謝です。

今期は京都YMCA創立125周年で数多くのプログラムが実施され時間の許す限り他クラブの例会とあわせて参加させて頂きました。

8月は福島被災者支援リフレッシュファミリーキャンプの一日をエイブルでも担当させて頂きました。企画では宇治の花火大会を楽しんでいただく予定でしたがあいにく台風11号が接近、リトセンで3家族の皆さんとYMCAのボランティアさんとバーベキューや100匹の天然鮎の塩焼きを楽しんでいただきました。

9月は京都部会とびわこ部会で大いに盛り上がりました。

10月は恒例の部長公式訪問例会で、子クラブの京都東稜クラブさんと合同での開催となりました。講演は「宇治川の鵜飼」と題してうみ鶴誕生の珍しいお話を聞かせて頂きました。

11月は宇治福祉まつりに参加しお餅つきとワイズデーのアピールを行いました。お餅つきも毎年大変ですが、コメントさんメネットさんお友達の協力でお昼過ぎには早々と完売となりました。ワイズデーのアピールは今年も壇上でさせて頂き、京都YMCAの旗とワイズメンズクラブの旗を掲げて全員エイブルのハッピーでのアピールとなりました。

12月クリスマスは“ファミリーでゆっくりと楽しもう”

会長主題「さあ！新しいステージへ」心機一転

がテーマでコメントさん孫メットさんが久々にたくさん参加頂き、ビンゴゲームとなつかしいクリスマスプレゼント交換で大いに盛り上がりました。

京都部の他クラブを訪問では8月にウエストクラブの納涼例会「こわーいお話」に伺いました。メンバーゲストが沢山お見えでホットで涼しい例会でした。

10月はグローバルクラブの125人例会で京都YMCA創立125周年記念講演会で気管切開をした声楽家青野浩美さんの「わたし前例をつくります」ですごく積極的な生き方を聞かせて頂きました。また、トップスクラブの200人例会ではメンバーゲストの多さに驚かされ、プリンス、グローバル、ウエル合同例会では危険ドラッグのお話を。

11月は京都部をホストいただいているトゥービークラブさんのEMC100人例会に伺い京都部は着実に進化している事を実感させて頂きました。



京都グローバルワイズメンズクラブ会長 橋本達士

早いもので7月のキックオフからすでに7か月が経過しました。

諸先輩方からはクリスマス例会が終われば八割方終わったようなものとアドバイスをいただいておりますが、まさにそんな感じです。

前半の主な事業としてYサ事業ではリトセンでの夏季準備ワーク、高所作業車を準備し気になっていた高所の枝を払いました。また、福島被災者支援リフレッシュキャンプでは台風にあらずらされましたが京都YMCAで何とかおもてなしができて出来、きっと喜んでいただけたかと思います。

地域奉仕事業では修光学園の修光まつりを例会としてお手伝いしたり、パン販売用陳列棚の資金補助をさせていただきました。

ファンド・BF事業ではじゃがいも販売がメインとなりましたが、原価が上がり不足した分をチャリティーゴルフや北海道物産で補いました。

EMC事業では125人例会を開催し、音楽家の青野浩美様

会長主題「Peace begins with a smile.」

をお招きし、心に響く例会となりました。

通常のホーム例会では京都大学の知能情報学専攻の水原啓暁様、京都市動物園の秋久成人園長先生、同志社大学の能楽部金剛会様など多彩なゲストをお招きし、また鮎鶴鴨川リゾートでの納涼例会、大森キャンプ場での家族例会、そしてお待ちかねクリスマス例会など毎回楽しい例会を実施することが出来ました。また交流や広報など他の委員会でも各委員が意見を出し合い充実したクラブライフ送っています。

いよいよ後半戦、YMCAの125周年記念式典や車いす駅伝、チャリティランに修光学園とのふれあい例会など大き



な事業が目白押しですが、各メンバーが力を合わせて乗り切っていきたいと思います。そして来期のアジア大会や3年後の25周年での飛躍に向けてメンバー全員が一丸となって取り組んでいきます。

どうぞ京都部の皆様もグローバルの例会や各事業に遊びに来てください。



京都みやびワイズメンズクラブ会長 武本 聡

会長主題「因果応報」自分の信念に基づいて行動する



19期に続き22期二度目の会長を引き受けることになり、会長主題「因果応報」を掲げスタート致しましたが、最初から諸先輩の足を引っ張ることになり深く反省しています(サバエワークをすっぽかし)。

正直なところ、昨年亡くなられた故石田直前会長の指名により仕方なく引き受けたような経緯で、そして私自身の体の不調によりみやびクラブに対し十分な会長としての活動が出来ていない状態です。

このようなことであっても、みやびクラブは私に関係なく年間活動計画通り邁進しています。リトセン開設ワークで今期のスタート。サバエ開設ワークでは、例年担当している生垣の剪定とどんぐりの森の手入れ等を行いました。

8月は、みやび創設以来サポートしています視覚障害施設洛西寮夏祭りにおいて屋台を出店(焼きそば、かき氷、フライドポテト)、寮生、来場者の方に大変喜ばれています。

又、納涼例会では過去に無い例会を実施、観光バスチャーターで甲子園球場ナイター観戦、ヤクルトスワローズ相手での試合でしたがタイガースファンで埋め尽くされ大いに盛り上がりました。

アンチタイガースファンのメンバーも甲子園の浜風に酔いしれていました、また来年もとの声も…

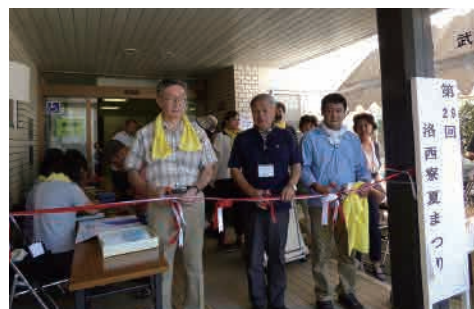
9月の例会は、例年通り洛中クラブとの合同例会を実施、当日は部長公式訪問で部長並びに主査の方にスピーチを頂きました。

10月・11月は通常例会、12月は恒例のクリスマス例会を実施、1月は三クラブ(ウエスト・洛中・みやび)合同新年例会と続き、新年例会では、クラブ対抗かくし芸において私の本業である瓦屋の特技を生かし「瓦割り」をお披露目、見事10枚割りをやってのけ満場の拍手を頂きました。又、食事券をゲットし漸く会長としてみやびクラブのお役に立てました(2万円のお食事券です)。

例会以外での出来事として、アジア大会エクスカージョンを担当(宇治コース観光と縁日)、11月にコース下見、会議への参加等クラブを掲げてのバックアップを行っています。

1月主催で開催しました第3回ユニカル大会では、サポートしています遙学園の先生とこどもたちをお招きして6チームリーグ戦形式で試合を行い、各試合熱戦が繰り広げられました。特に園の子供たち通しの試合の時には白熱した試合で、マナホールは歓声と熱気に包まれました。参加して頂きました、ワイズ並びに一般の方に新しいスポーツに堪能して頂いたと思います。

現在みやびクラブメンバーは少ないですが、下半期も変わらず邁進して行きます。



京都トップスワイズメンズクラブ会長 舞田智之

会長主題「新しい毎日を」Step by step 一歩ずつ



トップスクラブでは今期20周年記念事業を控えております。

皆様にもすでに案内が届いているはずですが、20年分の感謝の気持ちを込めて、ありがとうを基本のコンセプトにして2年近くに渡り企画運営して参りました。

皆様に喜んで頂ける記念例会を開催するべく、今期も若手が主体となり、議論を重ねております。皆様どうぞご参加よろしくお願いいたします。4月5日です。

また同日にはこちらも1年以上交流を続けて来た富士山部の沼津クラブとのDBC締結も決まっております。今期もお互いが行き来して時には酒を酌み交わし親睦を深め互

いのクラブをよく理解して締結と言うことに決定いたしました。こちらにも締結後には改めて報告させていただきます。

またIBCも韓国釜山の西面クラブとの交流も今期始めて京都以外での交流をと言うことで、九州にて交流を深めました。またその際には阿蘇YMCAにて地域奉仕主任の藤本様にご協力頂き、料理を振舞って頂きました。こちらにも良い思い出となりました。

そして今期は自クラブからEMC主任、主査を輩出しており、さらなる新しい和を広げ、新規入会者の獲得も積極的に行おうと、EMC例会（200人例会）を開催致しました。

他クラブの方にも大勢参加頂きました。感謝致します。メンバーゲストも80名を超えるご参加を頂きました。その成果もあり今期はすでに現時点で7名の新メンバー増員、さらに3月度には3名の入会を予定しております。最後まで手を緩めることなく、懇親親睦を図りたいと思っております。

他の事業に目を移しますと、ワイズデーには京都市主催の街美化市民運動に登録し今期作成したワイズメンズクラ

ブ、トップス、のロゴの入った幟を持って認知度アップを図りましたがあいにくの雨のため企画自体が中止となりました。新しい試みで、今後も引き続き行って行きたいと思えます。Yサユース事業はサバエ、リトセンと二つの施設のワークに参加。青い空と白い雲のキャンプにも微力ながら参加致しました。125周年ユーススポーツ大会では福井の大飯市にてバスケット、サッカーのイベント開催のお手伝いをさせて頂き子供達の元気な笑顔に逆に癒されて来ました。ファンド事業はジャガイモはもちろん、15を超える新たなファンドを実施、ネットを使ったオークション形式のファンドも新たに開催されました。

このように他にも記載しきれないほど、事業を行って来ましたが、全てがメンバーで楽しく行って来ました。今期もまだまだ事業がたくさんありますが、手を抜かず、笑顔忘れず、真剣に取り組んで参ります。

皆様にもご協力お願いするかもしれませんが、その際にはよろしくお願い申し上げます。

京都トゥービーワイズメンズクラブ会長 水野充弘



「あっという間の半期が過ぎました。『艶と色気』という会長主題でスタートし主題に応じた例会をドライバー委員長をお願いして参りました。

色気を感じられる話の仕方・コーディネートの方で艶を感じられる着こなし・ビールをさらに美味しくいただく例会などを開催してきました。

でも上期のハイライトは、京都部会のホストクラブであったことです。畑本京都部長の印象的？な開会に始まり、映像を中心とした部会を開催しました。

翌日はDBC先の熊本ジェーンズクラブさんと京都市中心部をコアなガイドで散策もしました。CS事業では、ここ数年行っている府立病院の夏祭りのお手伝いや、嵐山の穂垣修理などをお手伝いして参りました。

会長主題「艶と色気」 Don't stop the Party

さらに年末は、私の希望で『THE忘年会』と銘打って、お風呂に入りお座敷で語らうベタな忘年会も実施しました。新年早々 ZEROクラブとの合同新年例会は、天壇祇園本店にて焼肉をいただき、とても楽しい新年会を開催できました。

今までのように決まった場所だけではなく、アクティブに外に出ようと言うことでメンバーにも新鮮な気分を味わってもらえたのではないかと考えています。下期に入り既に2ヶ月が過ぎ、あっという間に終わってしまいそうな感じです。

西日本区大会、アジア大会など大きなイベントが中心となるであろう下期です。

ともすれば忘れがちな会長主題を下期もさらに推し進め、魅力あふれるクラブ作り、魅力あふれるメンバー作りに一役買えればと思います。



京都東稜ワイズメンズクラブ会長 佐藤私子

会長主題「つなぐ」出かけよう、出会いとつながりの場所



京都東稜ワイズメンズクラブです。今期のお知らせは何と言っても2人の新メンバーを迎えれたことになります。10年を超え、チャーターメンバー数名を失った東稜としてはハッピーな出来事でした。

それでは東稜クラブの主な活動をお伝えいたします。

ここ数年の活動の柱として行っているのは祇園祭での清掃活動です。京都をいや日本を代表するお祭りに清掃活動という形で参加できることは我々にとっても大きな誇りでもあります。四条烏丸の各拠点で分別回収の声掛けや各通りに散乱したゴミの拾い歩き、道案内は四六時中、記念撮影のカメラマン、揚句はおいしいイタリアンの問い合わせ等守備範囲も多岐に渡ります。

普段、東稜クラブは毎月最終日曜日を第二例会として山科、伏見のゴミ拾いを行っておりますが活動中に声を掛けられることはありません。

そういう意味では夏の暑い時期ですが我々も楽しんで活動できているのかなと思います。

秋には「京都てんとうむしマラソン」のお手伝いもしております。この大会は今年20周年という記念の年を迎え

ましたが東稜クラブは発足以来サポート活動を続けています。宝ヶ池公園を障がいのある人となない人が一緒に走るというマラソン大会はとても意義のあるものです。

その他の活動として、今年はリトセンにタコ焼き器を贈呈しました。昨年の夏にリトセンで行われた福島からの親子キャンプの活動として、関西の味でおもてなしということで本格的なタコ焼き器を購入してタコ焼きパーティを行いました。慣れない手つきで作ったたこ焼きをみなさん喜んで食べていただきました。このタコ焼き器はリトセンに常時置いてありますのでまた良かったらみなさんもタコ焼き作ってくださいね。

最後になりましたが今後よりしっかりとした活動をしていくためにも東稜クラブには新しい仲間が必要です。今期は従来と違った活動も行い新たなメンバー獲得に向けて進んでいきたいと考えております。皆様、どうぞ期待を！



京都ウェルワイズメンズクラブ会長 松田博一

会長主題「歩みを止めるな」諦めないカメと居眠りしないウサギ



3度目の会長を始めて早くも半年が過ぎました。3回も会長を引き受けていると、自分の期が始まる前は、何となく気が重いものですが、やり始めるとそうでもない自分に気が付

きます。ワイズとは不思議なものです。会長を引き受けるかどうか迷っておられる方は是非やってみて下さい。何をやっても必ず上手くいきます。

だってそうでしょう、今までやっとなことの無い新しいことが経験できるので、それだけでも儲け物ですよ。私は、ウェルクラブのメンバーに助けてもらって、感謝感謝の日々を過ごしています。下半期も宜しくお願いします。

さて、活動の方も当初の計画通り順調に進めることができました。私たちウェルクラブは、毎年Yサ事業を中心に活動を進めていますが、その中でも大きな事業である、ソラシドキャンプのサポートも二日間に渡り無事終了することができました。子供たち同様、私たちも「コバコバ」を合言葉に、大いに盛り上がりました。皆さん、本当に有難うございました。

その他、今期は久しぶりにキャロリングのお手伝いが出来た事も、非常に良かったと思っています。Yサ委員長、どうもお疲れ様でした。

また、恒例となりました、プリンスクラブ、グローバルクラブとの3クラブ合同例会も、ウェルクラブがホストとして皆様をお招きすることができました。ゲストスピーカーに、京都府警察本部の警部補(辻健 様)にお越し頂き、いま巷で問題になっております危険ドラッグについて講演して頂きました。

通常例会では、いつもプリンスクラブにお世話になっておりますが、ここで下半期に目を向けると、3月、4月、5月とウェルクラブ主催の例会を、平安ホテルでおこないます。ここでは、昨年好評を頂きました競馬例会を予定しております。ゲストスピーカーに、スポーツ紙や多くの著作でも有名な競馬評論家(古澤秀和 氏)をお迎えして、馬の見方や馬券の買い方など初心者の方も楽しんで頂ける内容も織り交ぜながら、競馬談議に花を咲かせたいと考えています。

どうか皆様、これからも京都ウェルクラブをどうぞ宜しくお願いいたします。



京都ZEROワイズメンズクラブ会長 河村栄二

会長主題「和の心を持って…」一人一人の意見を尊重し思いやりと愛情あふれるクラブ!!



上半期を振り返り、与えられた役割を責任を持って取り組んでくれるメンバーに感謝しながら、ようやく折り返し地点を通過したように思います。

7月、雨のサバエ開設ワークに始まり、例年通りこなして来た事業の中でも主な取り組みとして、地域奉仕では、府立医大こども病院入院中の子供達に五山の送り火を見ながらの夏祭り体験実施、妙心寺退蔵院副住職 松山大耕氏をゲストスピーカーに招いてのワイズデー、YMCA サービス事業では、リトセン準備ワーク昼食担当、北山府立陶板名画の庭でのグローバル・コミュニティ・スタディー広報イベント THE SHOW TIME、後半には車いす駅伝のサポート、125周年事業の寄附を募るイベント往年のグループサウンズ

ワイルドワンズLIVEを企画しています。

その他EMC事業に関しましても様々なイベントを通じて会員増強に益々力を入れて行きたいと思っています。

今期会長主題『和の心を持って』の気持ちをメンバー其々がお互いの意見を尊重しながら役割を果たしているZEROクラブの会長として、私自身もっとしっかりなくてはならないと反省させられています。

親愛なるメンバーに選んで頂いた会長の役割を果たすべく下半期思い残すことの無いように頑張っていきたいと思っています。

まだまだチャーター 5年目、歴史の浅いクラブではありますが、今後とも暖かく見守って頂きますように宜しくお願い申し上げます。



次々期京都部部長決定

2014年9月1日に告示しました、次々期部長立候補につきまして、京都プリンスクラブから所定の手続きによりご推薦のごぞいました「**廣井武司**ワイズ」に次々期部長をお勤め頂くことと決定いたしました。

第19回京都部部会決算報告

部会ホストの京都トゥービークラブより部会決算が京都部役員会に提出され、審議の結果承認されました。

	科 目	金 額
収入の部	立替金	30,000円
	事業予算	492,000円
	登録費(@10,000×459名)	4,590,000円
	お祝い金	10,000円
	利息	50円
	収入合計	5,122,050円
支出の部	飲食費	3,899,456円
	設営費	229,500円
	演出費	632,880円
	印刷・撮影費	115,090円
	立替金返金	30,000円
	消耗品費	20,298円
	送料	16,484円
	返戻金	80,000円
	事務費	18,000円
	寄付金	80,342円
	支出合計	5,122,050円



次期京都部役員決定

次期部長のもと、2015～2016年度、京都部を率いて頂く役員の皆様が決定致しました。

2015～2016年度京都部役員体制（敬称略）

役職名	氏 名	所属クラブ
部長	高田敏尚	京都
次期部長	廣井武司	京都プリンス
直前部長	畑本 誠	京都トゥービー
書記（総括）	田中俊光	京都
書記・PR委員会	倉田正昭	京都
書記	三井哲次	京都
会計	金澤市郎	京都
代議員	畑本 誠	京都トゥービー
代議員	高田敏尚	京都
監事	桂 厚子	京都ウエスト
Yサ・ユース事業主査	小櫻武彦	京都パレス
地域奉仕・環境事業主査	大槻裕樹	京都東稜
EMC事業主査	山岸裕明	京都ウイング
国際・交流事業主査	佐古田正美	京都ZERO
メネット事業主査		

2015～2016年度各クラブ会長（敬称略）

クラブ名	氏 名
京都クラブ	合田太一
福知山クラブ	堀 京子
京都パレスクラブ	小林千春
京都ウエストクラブ	加藤秀行
京都めいぷるクラブ	山川新一
京都キャピタルクラブ	幡南 進
京都プリンスクラブ	蒔田茂夫
京都センチュリークラブ	志賀昭夫
京都ウイングクラブ	山内達也
京都洛中クラブ	土屋順敬
京都エイブルクラブ	上澤正廣
京都グローバルクラブ	小川敏雄
京都みやびクラブ	有澤泰伸
京都トップスクラブ	河原祥博
京都トゥービークラブ	洪水浩巳
京都東稜クラブ	佐川泰之
京都ウェルクラブ	田栗和典
京都ZEROクラブ	波多野守一

京都部2014～15年度上半期の歩み

5月	9日(金) 京都部Yサ・ユース懇談会
6月	8日(日) 第1回京都部評議会 23日(月) 京都部EMC勉強会 29日(日) リトセン夏季準備ワーク
7月	1日(火) 部報第一号発行 4日(金) 第1回京都部役員会 6日(日) サバエ開設ワーク 13日(日) サバエ開設ワーク 15日(火) 部長公式訪問 京都キャピタルクラブ 25日(金) 京都部EMC懇談会 28日(月) 京都部ファンド懇談会
8月	1日(金) 第2回京都部役員会 6日(水) 部長公式訪問 京都プリンス・ウェルクラブ 7日(木) 部長公式訪問 京都ウイングクラブ 20日(水) 部長公式訪問 京都グローバルクラブ 23・24日(土・日) ソラシドキャンプ 27日(水) 部長公式訪問 京都パレスクラブ 28日(木) 部長公式訪問 京都 ZERO クラブ
9月	5日(金) 第3回京都部役員会 7日(日) リトセン秋季準備ワーク 9日(火) 部長公式訪問 京都クラブ 10日(水) 部長公式訪問 京都トップスクラブ 14日(日) 第2回京都部評議会 第19回京都部部会 22日(月) 部長公式訪問 京都めいぷるクラブ 25日(木) 部長公式訪問 京都洛中・みやびクラブ
10月	3日(金) 第4回京都部役員会 14日(火) 部長公式訪問 福知山クラブ 23日(木) 部長公式訪問 京都ウエストクラブ 25・26日(土・日) 西日本区次期役員研修会 26日(日) 桂京都部直前部長エルマークロー賞受賞祝賀会 31日(金) 京都部メネット親睦会 28日(火) 部長公式訪問 京都エイブル・京都東稜クラブ
11月	2日(日) ワイズデー(京都ウエストクラブ) ワイズデー(京都エイブルクラブ) ワイズデー(京都みやびクラブ) ワイズデー(京都トゥービー・京都ZEROクラブ) 3日(月) ワイズデー(京都めいぷるクラブ) 7日(金) 第5回京都部役員会 23日(日) ワイズデー(京都クラブ) リトセンオータムフェスタ 26日(水) 部長公式訪問 京都トゥービークラブ
12月	5日(金) 第6回京都部役員会

下 期 予 定

1月	9日(金) 第7回京都部役員会 15日(木) 部長公式訪問 京都センチュリークラブ 24日(土) 京都部合同メネット会
2月	6日(金) 第8回京都部役員会 8日(日) 第3回京都部評議会 11日(水) 京都YMCA125周年記念式典 22日(日) 第12回京都部CSチャリティーボウリング 28日(土) 部報第二号発行
3月	1日(日) リトセンチャリティーゴルフコンペ 6日(金) 第9回京都部役員会 7・8日(土・日) 西日本区次回会長・主査研修会 8日(日) 京都YMCA卒業リーダー祝会 全国車イス駅伝 14・15日(土・日) 第2回京都YMCAミニバスケットボール大会 27日(金) 京都部EMC懇談会
4月	3日(金) 第10回京都部役員会 5日(日) 京都トップスクラブ20周年記念例会 19日(日) リトセン夜桜フェスタ Y.Y.Yフォーラム
5月	1日(金) 第11回京都部役員会 16日(土) 京都エイブルクラブ25周年記念例会 17日(日) 第11回かもがわチャリティーラン
6月	5日(金) 第12回京都部役員会 7日(日) 第4回京都部評議会 13・14日(土・日) 第18回西日本区大会 30日(火) 部報第三号発行



第18回西日本区大会オフィシャルサイト
<http://jw2015.com>

第26回
ワイズメンズクラブ国際協会
アジア地域大会

2015年7月31日(金)～8月2日(日) ウェスティン都ホテル京都

“Start Future Now”
「未来を始めよう、今すぐに」



会場	ウェスティン都ホテル京都
日程	7月31日(金) 午後より 開会式典／国際会長就任式／国際役員交代式 アジア地域会長・役員交代式／基調講演 直前アジア地域会長主催晩餐会 8月1日(土) 午前:分科会／午後:京都観光／新アジア地域会長主催晩餐会 8月2日(日) 聖日礼拝／分科会報告／アジア地域ユースコンベンション報告／閉会式典 早期登録(2015年3月31日まで) ¥35,000 通常登録 ¥39,000
登録費	

大会ホスト:西日本区

official website <http://aac2015.jp>

第2報
ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区
第29回
京都部部会

『いつも喜んでいなさい』
“Be joyful always”

2015年11月1日(日)

受付 15:00～
開会 16:00

登録費 ¥9,000/人

会場:京都
ホテルオークラ



ホスト:京都ワイズメンズクラブ